

「車いす目線から巡る 能登食祭市場」の発行にあたり

令和6年元日に発生した、令和6年能登半島地震の被災者の方に、お見舞い申し上げます。

青山彩光苑からの外出が思うようにできない状況(2021年のコロナ禍の拡大)の中、事務所職員が倉庫を整理していたら、数年前に、七尾市民健康福祉まつりで展示した「車いす目線から巡る 七尾の旅」の中で能登食祭市場を撮影した写真を見つけました。もう、ポロポロになっているので、能登食祭市場に展示するわけにはいきませんでした。

そのため、もう一度、取材をし、改めて展示を行うこととし、取材計画書を作成し、能登食祭市場、ボランティアさんと日時を調整しました。しかし、最初に計画した日は雨降りとなり、計画を延期しました。次回の実施日を決めるとき、ボランティアと週間天気予報を見て、晴天が続く予報を参考にして実施日を決め、介護タクシーを予約しました。

青山彩光苑から介護タクシーに乗車して能登食祭市場に訪問し、道の駅駅長、能登食祭市場の責任者である村本さんから館内の説明、注意事項を聞き、ボランティアの谷内進さんと取材活動を行いました。村本さんには各店舗毎に、私たちが取材活動に廻っていることを伝えていただきました。そのこともあり、各店舗に温かく迎えていただきました。皆さん、ご協力ありがとうございました。

最初に、新しく正面玄関に設置されたエレベーターの撮影、測量を行い、館内へ入っていく、正面入口の扉等の幅をメジャーで計測し、館内の通路幅を計測、撮影を行いました。周囲の人たちは私たちが優しく見守ってくれました。感謝ですね。1～2階の店舗、通路幅、トイレなどバリアフリー情報を重点に撮影、測量を行い、能登の有名な名産物を取材対象に取り入れました。その後、シンプルにわかめうどんと肉団子を昼食にしてとりました。

午後から2階の店舗の取材。2階の店舗と言えば「Fish & Chips」が有名ですが、2021年1月15日に「Fish & Chips」から生パスタ&ピザの「遊庵」に店舗が変わりました。他に能登食祭市場の外廻りを見廻り、遊覧船「Sea Bird」の周りに飛び交うかもめたちを撮影して、取材活動を終わりました。

この冊子を、能登食祭市場を観光の計画に取り入れるときのバリアフリー情報の参考にして頂ければうれしく思います。

最後に取材協力、多くの写真を提供して頂いた能登食祭市場、写真ボランティアの谷内進さん、青山彩光苑、羽咋市車いす友の会「ゆうゆう」、自立生活支援センター富山、富山生きる場センターの皆様へ深く感謝を申し上げます。

2025年08月1日

障害者支援施設「青山彩光苑」

利用者：桶屋 善一